

第 23 回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」 ソフトボール競技実施要領

1 競技規則

令和 6（2024）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの編成は、監督 1 名、コーチ 2 名以内及びプレーヤー 15 名以内（男女は問わない。）とする。
- (2) 監督及びコーチがプレーヤーを兼ねる場合は、プレーヤー名簿に登録されていなければプレーヤーとして出場できない。この場合のプレーヤーの人数は、プレーヤーを兼ねる監督及びコーチを含め 15 名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合は、トーナメント方式とし、3 位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。
- (2) すべての試合は 5 回までとする。同点の場合はタイブレークを行う。ただし、延長は 2 回を限度とし、延長開始後 15 分を経過した後は、新しい回には入らない。それでも同点の場合は、最終回に出場していたプレーヤー 9 名（DP 制を採用した場合は FP プレーヤーを除く。）の抽選によって勝敗を決定する。
- (3) 1 回戦および準決勝は、試合開始後 80 分を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (4) 試合は 3 回終了後、10 点以上の差がある時は得点差コールドゲームとする（決勝戦、3 位決定戦を含む。）。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断され、コールドゲームとなった場合は、3 回以上の回を終了していれば、正式の試合と認める（決勝戦を含む。）。
- (5) ファーストピッチにより行う。
- (6) パスボールは適用しない。
- (7) 不正投球が行われたときは、審判により注意（指導）を行う。2 度目以降は不正投球として処理する。
- (8) 第 2 ストライク後の空振りアウトとする。振り逃げ規定は適用しない。
- (9) スクイズ（3 塁に走者がいるときのバント）は認めない（バッターアウト）。
- (10) 盗塁が行われた時、該当する走者はアウトとする。
- (11) 投手が投げたボールを、打者が打たなかった場合、ホームベースを通過する時点でボールデッドとする。そのため、盗塁、けん制、暴投による進塁など、その後のプレーは成立しない。
- (12) ボールデッド後のプレー再開の判断は、捕手が投手に返球し、セットを始めたときとする。その時点で走者が帰塁していない場合は、遅延行為とする。走塁に関わる遅延行為があった場合は、審判により注意（指導）を行う。2 度目以降は該当者をアウトとして処理する。

- (13) プレーヤーの応急手当が必要な場合や強雨・雷雨時、及びプレーヤーの健康状態を維持するために、給水タイムを実施した場合の時間計測は行わない。
- (14) 試合球は3号ボール（ゴム）とし主催者が用意する。
- (15) 指名プレーヤー（DP）及び再出場（リエントリー）を採用する。
- (16) 競技場のフェア地域及び塁間距離と投球距離は、女子の規格に準じる。

4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチ及びプレーヤーは、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同色・同意匠の帽子をかぶらなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は30番、コーチは31番と32番、主将は10番とし、他のプレーヤーは1番から99番の番号とする。また、ユニフォームの左袖（左肩から10cm程度）に都道府県・指定都市名を表示する。
- (3) 打者・打者走者・走者、次打者及び1・3塁のベースコーチは、両耳あてのある同色のヘルメットを着用する。また、捕手は、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクター及び膝当て付きレガーズを着用する。
- (4) 金属製スパイクの使用は禁止する。

5 組合せ

組合せは、令和6（2024）年7月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選の上、決定する。

6 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻の30分前までに5部作成し、競技本部へ提出する。
ただし、第1試合は、開始式終了後に提出する。
なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。
- (2) 攻守の決定は、打順表提出時に審判員立会いのもと、コインのトスによって決定する。

7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 その他

- (1) 監督会議は令和6（2024）年10月25日（金）に行う。なお、時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、監督、コーチ、プレーヤー以外は入ることができない。ただし、チームスタッフとは別にトレーナーを帯同しているチームは、1名に限りベンチに入ることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このト

レーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツレーナーの有資格者であることが望ましい。

- (4) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (5) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (6) 練習球は、各チームが用意する。
- (7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。